

ドクツルタケ (テングタケ科)

毒成分：アマトキシン類、ピロトキシン類
ファロトキシン類

夏～秋にかけて、針葉樹林や広葉樹林の地上に発生する。特に深山のシラカバ、ツガ、モミなどの樹下に多発する日本を代表する猛毒菌。傘もヒダも柄も白色で、傘のふちに条線はない。柄の表面は小鱗片～ささくれ状となる。



2002/10/12 第12回きのこ展にて撮影